

自己を拓く

お金のお話

進路希望調査の結果、多くの生徒が進学を希望しています。進学をする場合、学力(成績)の他にも「お金」のことを考えなければなりません。今回は高校卒業後の学費について調査をしました。

学費について(一年間)

一年間にかかる四年制大学の学費は「国公立 or 私立」、「文系 or 理系」などでさまざまです。簡単に比較をすると「国公立の方が安い」、「文系の方が安い」となりますが、どちらにせよ100万円近くの大金となります。

初年度納付金の平均額

	授業料	入学料	施設設備費等	総計
国立大学	535,800	282,000	※1	817,800
公立大学	538,633	393,618	※1	932,251
私立大学(全平均)	1,101,854	254,941	184,102	1,540,896

※金額は目安です。

Benesse HPより

※1 徴収される場合もある。

文科省の調査では、私立大学へ行った場合の四年間の学費合計は約520万円、国公立大学へ行った場合の四年間の学費合計は約240万円だそうです。

専門学校の場合、例えば「製菓」系を調べてみたところ二年間で合計297万円でした。分野によって差はありますが、専門学校の場合でもかなりのお金がかかります。また上記以外にも、「教科書代」や「教材費」なども必要になります。高校と違って、これらもかなりの金額になります。

今回示した金額は分野や学校によって異なるので、正確な金額について知りたい場合は各学校の資料を見てみましょう。

生活費について

学費だけではなく、生活費も必要です。一人暮らしをした場合は、住居費(家賃)や食費が多くなります。一ヶ月で約12万円とすると、四年間で約580万円必要になります。学費と合わせると1000万円近くになります。

もちろん東京などの大都市では、家賃が高くなるので、それ以上に必要です。アルバイトや奨学金を検討する必要があります。

1ヶ月の生活費

	自宅生	下宿生
食費	12,010	24,480
住居費	210	52,630
交通費	9,530	3,410
教養娯楽費	7,840	8,600
書籍費	1,670	1,950
勉学費	1,120	1,520
日常費	4,830	5,610
電話代	2,630	4,030
その他	1,800	2,420
貯金・繰越	16,530	12,310
合計	58,170	116,960

河合塾大学受験入門誌より

奨学金について

まず初めに、「奨学金は借金です。」普通のローンとは違って、金利が安かったり返済期間が長かったりしますが、大学卒業後に返済をしなければならないことを知しましょう。中には「返済しなくてもよい」給付型奨学金もありますが、世帯年収などに条件があるため、もらえない場合もあります。貸与型奨学金であっても、成績や親の所得の状況などの基準を満たしていないともらえないものもあります。このようなことをきちんと理解した上で申し込みを検討してください。



一般的な奨学金

奨学金のなかで最も一般的で、多くの大学生が利用しているのが「日本学生支援機構奨学金」です。大学生になってからもらいたい場合には、高校3年生で予約手続きをすることができます。種類は主に2つあり、第一種(無利子)と第二種(有利子)です。

第一種は基準が厳しく、第二種は一種よりも基準が緩やかです。

その他に給付型奨学金もありますが、各家庭の収入や資産の金額により、給付される金額が異なります。また、その奨学金だけで学費のすべてをまかなうことは、金額的に難しい(思ったより少額)のが実情です。



国の高等教育の修学支援新制度

数年前から始まった国の修学支援制度ですが、「授業料・入学金の免除または減額(授業料等減免)」と「給付型奨学金の支給」の2つの支援があります。

「授業料が免除」は、大変魅力的なワードですが、この支援の対象になるには、世帯の収支状況などの条件があります。

満額支援されるのは、例えば「住民税非課税世帯で、4人家族の収入の目安が300万円以下」などで、この条件を満たす生徒は少ないと思われます。詳しくは、学生支援機構(JASSO)や文部科学省のホームページで確認しましょう。

その他の奨学金

ほとんどの私立大学で独自の奨学金制度が設けられています。返済義務のない給付制のものや、返済しなければならない貸与制のものなど、一つの大学のなかに数種類の制度が設けられていることも多いようです。採用方法としては、入学してから選考する場合と、奨学生のための選抜試験(給費・特待生入試)を行う場合があります。大学のホームページなどで調べてみるとよいでしょう。

また地方公共団体(静岡県や浜松市など)が実施している奨学金制度や民間育英団体(企業や個人)の設置している奨学金もあります。

看護師志望者の場合、一定の条件さえクリアすればもらえる奨学金もあります。

例:静岡県厚生連看護専門学校の場合(JA静岡厚生連の奨学金について)

貸与額:年額 300,000 円(月額 25,000 円)

返済方法:卒業後、JA静岡厚生連病院・施設及び関連病院に3年間勤務により返済が免除されます。

シミュレーションが大切です



いくら必要なのか、将来、毎月いくら返済するのかといった事前のシミュレーションが大切です。

JASSO のホームページに「進学資金シミュレーター」があります。

自分の家の収入や家族構成などを入力すると、給付型奨学金がもらえるのか、貸与型奨学金が月いくらもらえるかがわかります。

また返還シミュレーションもあり、卒業してから毎月いくら返済をすることになるか自動で計算をしてくれます。このような事前の調査はとても重要なことです。何も考えないで、とりあえず申し込みをするといったことは、できるだけ避けたいですね。